

News

<http://www.jmdp.or.jp/>
<http://www.jmdp-donor-special.jp/>

日本骨髄バンク

検索

CONTENTS

- 2・3 語りべからのメッセージ
- 4 コーディネート問答[第1話] 適合通知の巻
- 5 広がるパートナーシップの和 学校編
- 6 日本骨髄バンクの現状／トピックス
- 7 全国大会2018【予告】／カレンダー新発売／
BANKO'S DAY／プレゼント
- 8 住所変更手続きのお願い／メールアドレス登録のお願い

日本骨髄バンクの現状 ※2018年5月末現在

ドナー登録者数

48万5,810人

移植数

21,986例

INTERVIEW

「生きたいと願う人がいる。」



▲「私もドナー登録しました」と語る中川翔子さん

ACジャパン骨髄バンク支援キャンペーンCMが今年7月から新たにスタート。

出演は中川翔子さん。若くして白血病で亡くなられたお父様の年齢を迎え、今回のCM出演となりました。よみがえる思い出とともに撮影に臨んでいただきました。

プロフィール

なか がわ しょう こ
中川 翔子さん

1985年東京都中野区生まれ。「しょこたん」の愛称で知られ、歌手、声優、イラストレーター、漫画家、女優として活躍。2004年11月に開始したブログ「しょこたん☆ぶろぐ」が人気を博し、2006年に歌手デビュー。父の中川勝彦氏(ミュージシャン、俳優)は32歳で白血病で世界。父の影響から、本気で漫画家を目指すほどの画才を発揮するほか、多彩な趣味を持つ。

今回のキャンペーンCMが、誰かの幸せや命の未来が変わるきっかけになるとしたら、父と私のいろんな意味での集大成という大きなターニングポイントと重なって、これも意味があったんだろうなと思います。このCMは偶然どころか、父が連れてきてくれたような気がしました。もしかしたら私がドナーになっていれば助けられたのかなど、ずっともやも

ターニングポイントと重なったCM

父がつないでくれたもの
小さい頃は父と同じ職業には就かないし、関係ないと思っていました。でも結局夢をもってデビューしたのが父と同じ芸能界で、信じられなかったです。この世界で形になっていったのが歌うことと絵を描くこと、猫のこと。教えてもらったわけではなかったのに、完全に父の足跡を追っているかのようでした。いまだにどこに行っても「お父さんと一緒に仕事をしていたんです」と声をかけてもらうことが多くて、共演者やスタッフの皆さんの優しい言葉にハッとさせられます。

YouTube ビデオメッセージ



You Tubeで中川翔子さんの応援メッセージを公開しています。ぜひご覧ください。

骨髄バンクYou Tubeチャンネル

<http://www.youtube.com/user/jmdpmv>

ドナー登録することとはとても勇気のいることで、その行動力があつたからこそ、誰かの未来が救われるかもしれない。そのすばらしいエネルギーはいつも心にとめておいていただきたいと思います。それによってどこかで笑顔の花が咲く。みんなの思いとその行動が、実際に誰かの力になることを実証できるのがドナー登録だと思います。(談)

ドナーさんへのメッセージ

患者さんへのメッセージ
ドナーが見つかるというハードルは高いと考える人が多いかもしれないけど、もっと登録者が増えれば、ドナーが見つかるチャンスはもっと増えると思っています。骨髄バンクと白血病の患者さんにきつと大丈夫と言える未来が近づくようにと、ずっと願っています。今回のキャンペーンに限らず、メッセージを伝えることはこれからもしていきたいと思っています。

最初のドナーは 全員進まず

大学3年生の時でした。お正月に帰省したとき、だるくて食事ができなくて、おかしいなと思っていました。12月に高熱が出たことが2回あって、病院に行ったら原因はわからないけれど、ウイルス性感染だろうと言われました。1月に膀胱炎になってまた病院に行くと、翌日検査結果のことで病院から「今日すぐ来てください」と呼び出しがありました。血小板の数が非常に低く、病院に着くとさらに数値が下がっていて、その日のうちに即入院。詳しい検査の結果、急性骨髄性白血病とわかりました。

私の白血病のタイプは予後の良いものと悪いものの中間で、「完璧に型が合うドナーがいれば、移植したほうがいいが、そうでなかったらリスクを負ってまで今移植する必要はない」と言われました。骨髄バンクでドナー候補者は見つかりましたが、完全に一致する方は全員辞退という結果になり、先に進まなかったんです。そのときは抗がん剤治療で状態が良くなったものの、4か月後に再発。今度は完全に型が合っていないくても移植に踏み切ることになりました。

競技ダンスの日々が一変



▲息の合ったパートナーと踊る姿

病気がわかったときは取り乱しましたが、周囲の支えもあって、さほど落ち込むことなく治療することができました。

でも、部活の競技ダンスをずっとがんばってきたので、ペアを組んでいたパートナーに「何て言ったらいいだろう」と思いました。自分もやめると言われましたが、私のためにも結果を残してほしいと伝えて、最後の大会までほかのパートナーとがんばってくれました。

入院中、みんなの大会の成績や動画を見たり、踊りのことはずっと考えていました。今は元気になったけれど、体力的にまだ踊れないので、いつか得意のラテンダンスを踊りたいですね。



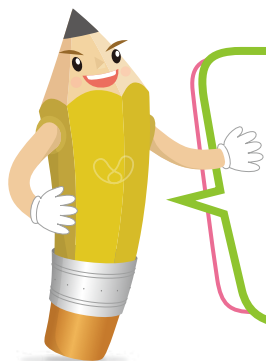
いし のぞみ
石井 希さん

プロフィール

大学在学中の21歳のとき急性骨髄性白血病を発症。22歳(2016年)で骨髄バンクを通じて骨髄移植を受ける。現在、仕事のかたわら骨髄バンクの講演会や支援活動を展開。

MESSAGE

語りべからのメッセージ 移植を受けた患者さんへインタビュー



卒論のテーマに 考えたこと

大学には、やむを得ない事情で一旦退学しても復学できる再入学制度があり、2017年4月に復学しました。3年間ろくに授業に出ないでダンスばかりだったせいで、卒業に必要な単位がたつぷり残っていました。たとえ病気をしなくても卒業できなかったかもしれません。自宅の静岡県から東京の大学に週3〜4日新幹線通学し、こんなに勉強したのは久しぶりでした。

移植して、生きるか死ぬかを経験し、たまたま生き残った今、どうやって生きていこうかと考えたとき、「今できることをやっていこう。卒論も自分が経験したから書けるものを書こう」と思いました。

もう一度病氣と向き合い、治療のつらかったことを思い出すのは大変でしたが、日本の骨髄移植の問題点と解決策、大学生のドナー登録のために出来ること」という卒論にまとめました。骨髄バンクをもっと知ってもらうために、学内講演会も開きました。



▲病氣と向き合い、移植を乗り越えた石井さん

移植経験を活かす 道を目指して

ドナーさんの骨髄液を見たときは、「こんなにたくさん提供してくれたんだ」とありがたい気持ちしかなかったです。移植後のつらかった時期を経て、血液型はA型からO型に変わりました。ドナーさんからもらった命が自分の中にあつて、生まれ変わった感じがしました。でも退院してから1年間は、発熱やじんましん、足の痛みと、多いときは3日に1回くらいのペースで通院が続きました。

移植を乗り越えて、ポジティブに考えられるようになりました。今でも生きていくことが奇跡なことだし、大変なことがあっても前向きに思えるようになりました。

卒論で実施したアンケートによると、若い人たちに骨髄バンクを認知してもらうには、「移植や提供した人たちの体験談を直接聞く機会があるといい」という意見が多かったです。

講演会だけでは限界があるので、大学生ができることを具体化する方法的1つとして、「骨髄バンクユースアンバサダー」の立ち上げに参加しました(P6参照)。10代〜20代の骨髄バンクサポーターの育成です。自分がその第1号ですが、母校の学生だけでなく、各大学のボランティアセンターのネットワークを通じて広がっていくことを願っています。

今年4月から、市の就労支援の協力で、病氣に理解のある地元の会社で働き始めました。就業時間を調整しながら仕事をしています。将来的には、移植した経験を仕事に活かせるような職業に就ければいいなと考えています。移植や骨髄バンクを考えるというテーマは、これからもライフワークとして追いつけていきたいです。

提供経験者として 伝えられること

職場の人がドナー登録した話を聞いて、ちよつと興味本位で登録したのがきっかけです。特別何があったわけではありませんが、心のどこかで「人のために」という気持ちがあったと思います。登録して10年後に初めて適合通知が届き、ドキドキしながら開けました。ドナー候補者の1人に選ばれて「よし!!」と心の中でガッツポーズしました。手術の心配より、いろいろ経験できるという気持ちでいっぱいでした。

妻は私がドナー登録したことを知っており、もともと自分で臓器提供意思表示カードも持っていたので理解していました。でも手術するということには多少の不安はあったと思います。同居の両親は心配だったようですが、送られてきた資料などで説明し、少しは理解したようでした。

職場では骨髄ドナー特別休暇制度を利用して休むことができました。このようなことに対してとても理解があつてよかったです。入院中も先輩や同僚が見舞いに来てくれたり、休み中も仕事をバックアップしてくれました。

1回目は海外の方への提供でした。途中で一度保留になり、数か月後に提供できないかという連絡があり、



2004年4月ドナー登録
2014年12月と2018年2月に骨髄提供

【茨城県在住】
やまぐち あつし
山口 淳さん



迷うことなく了承しました。海外提供の場合は病院が限られ、都内の病院に入院しました。一般の患者さんと同じ病室でしたので、自分が提供する意義を肌で感じることもできました。2回目の提供のときは個室で、ある意味よい休養をとれた感じで入院生活を送ることができました。ただ退院後に風邪をこじらせてしまい、よいけい仕事を休むことになってしまいました。言われた通り安静にしていればよかったと思います。2回目の患者さんからお手紙が届いて、それを読んだときは涙が出るくらいうれしかったです。骨髄提供という貴重な経験をさせていただいたこと、私自身も感謝でいっぱいです。実はまだ何を書いたらよいのか考えてしまっていますが、しっかりとお返事を書きたいと思っています。

患者さんの方へ、きつと適合

するドナーは見つかると信じてください!!そのためにも私たち提供経験者がもっとドナー登録が広がるよう多くの



3回目の手紙 「元気になったあなたへ」



手紙の
差出人

2007年7月に
骨髄提供をした
かわぐち のぞみさん



骨髄バンクを通じて移植を受けた患者さんとドナーさんの手紙のやり取りは、移植後1年以内で2往復まで。「3回目の手紙は出すことができません。お互いの相手へはお届けすることができませんが、このバンクニュース紙面にお伝えさせていただきます(3回目の手紙)は不定期に掲載します」。

無事に採取も終わり退院し、提供したことも忘れかけていた頃、提供した患者さんから手紙が届きました。相手の患者さんは小学生で、その子とお母さんからの手紙でした。「ほくのいのちをたすけてくれてありがとう」と書かれていました。その時はとにかくうれしい気持ちですぐ返事を書きました。

あれから10年経ちますが、患者さんからいただいた手紙を今でも時々読み返しています。当時は型が一致した自分一人が提供したつもりでしたが、時間が経ち、あの提供は私一人だけのものではなかったと実感しました。その気持ちを改めて伝えたく、手紙を書きます。

提供から10年が経ちましたね。ひらがなで一生懸命書かれたあなたの手紙を読んで、提供できて本当によかったと思いました。骨髄提供は相手の顔や詳しいことは分からないけど、手紙を読んで「相手に届いていたのだな」と実感しました。提供をするにあたり、大事な家族の同意や友だちの応援、職場の方々の協力がありました。だから、私一人が提供したわけではなく、みんなからの提供だったのだなと思っています。あなたも私も誰もが、たくさんの方々に支えられているのです。これからも周りの方々を大事にし、感謝の気持ちを忘れずに自分の人生を大切に過ごしていきたいと思います。

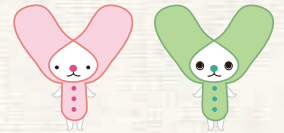
ありがとう。

コーディネート 問答 第1話 適合通知の巻



▲適合通知と一緒に届く書類

登場人物



コッコ(姉) スーズ(弟)

コッコとスーズ
骨髄バンクのキャラクターを務める双子の姉弟。

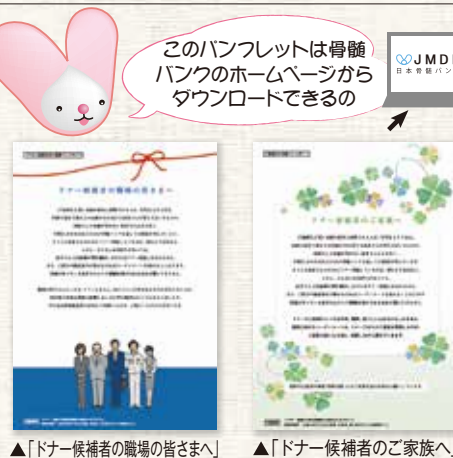
- コッコ** 骨髄バンクのドナー登録者数は48万人を超えたわ。
- スーズ** 年間2万4千人以上の人たちが、ドナー候補者になるらしいよ。ぼくはまだ候補者になつたことがないけど。
- コ** あらそう。実はわたし、昨日オレンジ色の封筒が届いたの。
- ス** えっ!! それって患者さんと適合した時に送られてくる『適合通知』のこと? 双子なのにコッコだけ?
- コ** まあね。『今回の貴方様のコーディネートは、骨髄または末梢血幹細胞提供についてのご案内です』って書いてあるわ。どちらの提供方法を選ぶかは、最終的には患者さんが決めるの。骨髄提供の場合もあれば末梢血幹細胞提供の場合もあるけど、ドナーが嫌な方法では話は進まないそうよ。
- ス** ずいぶんいろんな書類が入ってるね。『こちらをはじめにお読みください』

- コ** から読んでいくとわかりやすいわ。コーディネートを希望する場合は返信用紙に全て記入して返送するの。コーディネートを希望しなくても、進めるかどうかは「提供意思確認書」に記入して送付するか、電話で必ず連絡するのよ。
- ス** ふーん。返信用紙には2種類あるんだね。提供意思があるかどうかを意思表示するのが「提供意思確認書」。今の健康状態を確認するのが「問診票」。ほかにもあるけどこの2つは必須よ。さてと、全部記入できたわ。
- ス** え、もうできたの。この後どうなるの? まずはすぐにこれを返送しなくちゃ。とくに問題なければ、1か月以内に確認検査を受けることになるわ。コーディネーターさんから説明を受けて、医師の診察・血液検査をして健康チェックをするの。コーディネーターさんから連絡がきたら、検査の日時と場所を相談して決めるのよ。
- ス** お母さんやお父さんはもう知ってるの? 通知がきたことは話したわ。同意してくれたけど、コーディネーターさんから連絡がくる間にもう一度きちんと話すから、



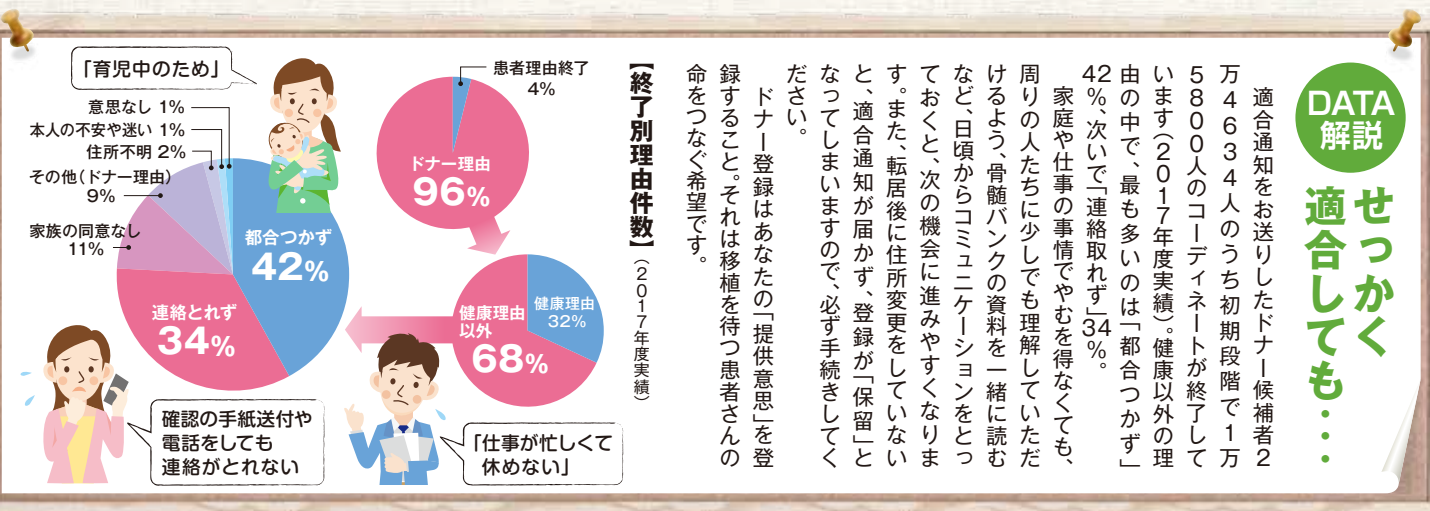
▲はじめに読んでいただく書類

- ス** スーズも一緒に聞いてね。
- ス** バイト先はだいじょうぶ?
- コ** もちろん。話だけじゃよくわからないかもしれないから、このパンフレットを読んでもらうことにするわ。
- ス** 『ドナー候補者のご家族へ』『ドナー候補者の職場の皆さまへ』そんなのがあるの? そう。とてもわかりやすいわ。
- ス** ぼくも読んでみようつと。
- コ** このパンフレットは骨髄バンクのホームページからダウンロードできるの。
- コ** せっかく患者さんと適合しても、「都合がつかない」とか、「連絡がつかない」とかで、先に進めない人たちが多いそうよ (DATA解説参照)。そういえば先月引越したけど、スーズはちゃんと住所変更した? もちろん! この前のバンクニュースに入ってた「変更はがき」を出したよ。それがないときはどうするの?
- コ** 造血幹細胞移植情報サービスのサイトや日本赤十字社ブロック血液センターに電話でもいいのよ。
- ス** 忘れちゃいそう。
- コ** バンクニュースの一番後ろのページに書いてあるから、覚えておくといいわ。



▲「ドナー候補者の職場の皆さまへ」

▲「ドナー候補者のご家族へ」





いすみ
▲夷隅准看護師学校

いすみ 夷隅准看護師学校の 担当者に聞く



夷 隅准看護師学校（千葉県いすみ市）は1955年に創立された地元の伝統ある学校。70名余の学生が准看護師を目指して2年間学んでいきます。同校では長年にわたって校内献血を実施してきました。初めて骨髄バンクの講演会が開かれたのは2016年8月。きっかけは骨髄バンクから届いた語りべ講演会を開きませんか？」のチラシでした。移植経験者、提供ドナーが語りべとして自らの体験を語る講演会には全校生徒74名が参加。それから約3か月後の11月に献血&ドナー登録会が実現しました。

「学生たちが聞いた時の感動が冷めないうちに少しでも早く開催したかった」と語るのは新井洋子先生。結果はドナー登録者36名。およそ半分の学生が登録したになりました。



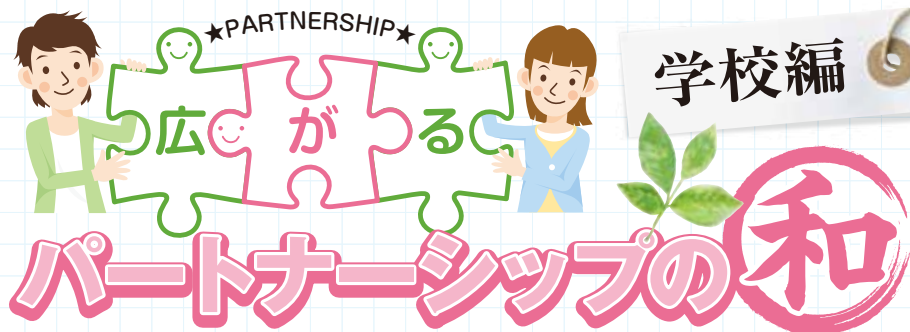
▲骨髄バンク講演会用チラシ

「講演を聞いた効果は大きかったと当時を思い出す新井先生。「医療従事者を目指している学生たちにとって、当事者からのお話は大変参考になりました。自分たちは今何ができるのか、学生たちが個々に考える時間を持てたことに感謝します」とのこと。

また、「講演会を通じてドナー登録が献血ルームでできるのを初めて知りました。看護学校ではなく一般の学校でもぜひ開催していく意味があると感じます」とも話してくれました。



▲講演会風景



学校編

ドナー登録年齢を迎える若い世代にこそ、骨髄バンクのことをもっとよく知ってもらいたい。そのきっかけ作りとなるのが「語りべ講演会」です。さまざまな問題を抱える教育の現場で、生で聞く移植経験者や提供ドナーの体験談は、かけがえない「命の授業」。学校で広がった確かな感動をお届けします。

全

国的にも珍しい高校での校内献血とドナー登録会を実施しているのが、おかやま山陽高等学校（岡山県浅口市）です。

もともと同校では献血と骨髄バンクボランティアによる講演会を開催していましたが、ドナー登録会も開催するようになったのはここ数年。2018年も1月初旬に3年生371名を対象に骨髄バンク地区普及広報委員の広畑紀子さんによる講演会と「フカフカバンド」による演奏会が催されました。そして1月下旬に行われた献血&ドナー登録会では23人の生徒がドナー登録してくれました。

「献血&ドナー登録会の開催前には、学校から生徒の保護者へ文書を出し、献血もドナー登録も保護者の



▲講演会風景

おかやま山陽高等学校の 担当者に聞く



同意を得ている生徒だけ受け付けます。当日に「献血したい」「ドナー登録したい」と言っても保護者の同意書のない生徒は受け付けていません」と語る養護教諭の畑美恵子先生。学校で講演会を開催することについて、「生徒ばかりでなく教職員も骨髄バンクを知るきっかけになっており、とても意味があります」（畑先生）。また原田一成校長は「ぜひ県内の他の学校でも増えて欲しい」と熱く語ります。学校で開催する献血&ドナー登録会の良い点について、畑先生は「献血ルームやショッピングセンターでもできますが、初めての生徒にとってはなかなかハードルが高い。その点、学校に来ていただけたら身近に感じますし、その時でなくても、卒業後に献血やドナー登録するかもしれないということでは、良いきっかけになっていると思います」と教えてくれました。

▼おかやま山陽高等学校



◆講演会に関するお問い合わせ

日本骨髄バンク

広報渉外部

TEL:03-5280-1789(平日9:00~17:30) / mail:pr@jmdp.or.jp

日本骨髄バンクの現状

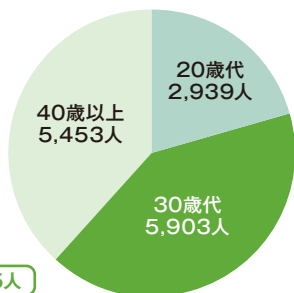
非血縁者間骨髄移植および末梢血幹細胞移植の状況
2018年3月末現在

提供者の状況

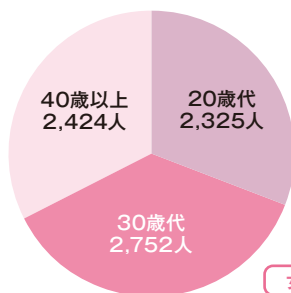
※採取されたものの移植に至らなかった8例が含まれています。

21,796件

年齢・男女



男性 14,295人

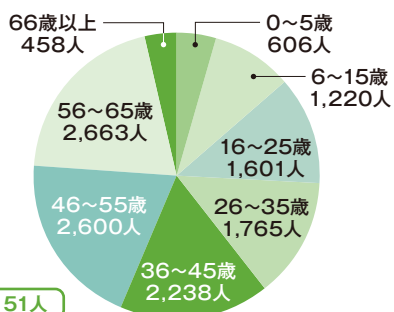


女性 7,501人

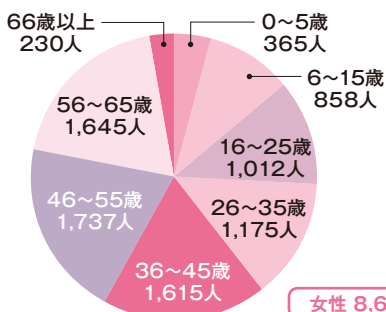
移植患者の状況

21,788件

年齢・男女



男性 13,151人



女性 8,637人

コーディネイト状況

(1992年から2018年3月までの累計)

731,038件

ドナー登録者累計数

290,646件

HLA適合報告ドナー人数

104,161件

確認検査済みドナー人数

25,270件

最終同意面談人数

21,608件

採取実施人数

※海外ドナー188人を除いた国内の数

日本骨髄バンクの国際協力

～登録情報の取り扱いについて～

日本骨髄バンクは造血幹細胞移植の国際協力を行っており、世界各国が参加するWMDA(世界骨髄バンク機構)に登録情報を提供しています。また、海外の骨髄バンクを通じてコーディネートの依頼を受け、個別のドナー登録情報を提供することがあります。



TOPICS

トピックス

“骨髄バンクユースアンバサダー” はじめました！



▲さまざまな協力をお願いします

若年層への情報発信やドナー登録推進に向けて、骨髄・末梢血幹細胞移植のこれからを考え応援して下さる10代~20代の「骨髄バンクユースアンバサダー」の募集を開始しました。ユースアンバサダーの方々には、SNSを利用した広報活動やドナー登録を希望する方への説明、若年層に向けたPRの企画提案などにご協力いただきます。当面は関東圏の大学を中心に募集を行い、順次全国的に展開していく予定です。ユースアンバサダーの活動は公式TwitterやFacebook上で報告していきます。ぜひ公式SNSのフォローもお願いします。

“骨髄バンク スペシャルサイト”始動！

ネーミング
大募集

骨髄バンクのコミュニティサイト「ドナーズネット」がリニューアルし、6月から「骨髄バンクスペシャルサイト」に生まれ変わりました。骨髄バンクを全く知らない方にもわかりやすいよう、ドナー登録のしかたや提供方法などを、マンガやアニメで楽しくご紹介しています。そこで今回、バンクニュース読者の皆さまに新サイトのネーミングを大募集します。ご応募いただいた方の中から抽選で、中川翔子さんサイン入り色紙またはサントリー飲料水をプレゼントします。ネーミングの決定はスペシャルサイトで発表します。お楽しみに！
★応募方法はP7をご覧ください。



▲楽しく学べる新サイト
<http://www.jmdp-donor-special.jp>

歴史ある滋賀県大津市へ是非、お越しください！



大津市の観光キャラクター・おつ光くん

予告 骨髄バンク推進全国大会 2018 in 滋賀 ドナー登録者の皆さん、集まれ！

今年も世界骨髄バンクドナーデーに合わせて、骨髄バンク推進全国大会を開催します。今回の開催地は滋賀県大津市。滋賀県は近年ドナー登録者の増加がめざましいところです。その県庁所在地・中核市である大津市は、琵琶湖の南西部で古くから水上交通の要衝として発展し、1300年以上の歴史を刻む古都としても名高い風光明媚な地です。

今回はとくにドナー登録者の皆さんの参加を募集します。参加ご希望の方は、当日ドナーカード(またはバンクニュース52号)をご持参のうえ、直接会場へお越しください。すてきなプレゼントをご用意しています。たくさんのドナー登録者の方のご参加をお待ちしています！

開催日	会場
2018年9月15日(土)	大津市和邇文化センター (滋賀県大津市和邇高城12)

※全国大会2018のプログラムは、8月以降ホームページでご案内します。



▲大津市和邇文化センター



骨髄バンク カレンダー2019 新発売

新しく骨髄バンクのオリジナル卓上カレンダー2019ができました。1部500円(税別)で、収益金の一部が日本骨髄バンクの活動資金に寄付されます。カレンダーの裏面には、ディック・ブルーナのイラストと一緒に骨髄バンクの情報が掲載されています。全国の主なカレンダー取扱店で一般販売を開始しています。ぜひご利用ください。企業や団体の名称をスタンドに箔押しする名入れの受注販売も受け付けています。詳しくは下記ホームページまで。

㈱紙工芸やまだ TEL:0877-75-6625

<http://www.kamikougei.co.jp/products/calender3.html>



Present スペシャルサイトのネーミングに応募して 賞品をGET!

6月にオープンしたスペシャルサイトのネーミングを募集します(※詳細はP6のトピックス参照)。ご応募いただいた方の中から抽選ですてきな賞品をプレゼント！

A賞

10名様



中川翔子さん
直筆サイン入り色紙

B賞

3名様



サントリー
伊右衛門280ml
1ケース(24本入り)

※サントリービバレッジサービス(株)は飲料の社会貢献型自動販売機の設置で骨髄バンクを支援しています。

応募締切 2018年8月31日(金)

応募方法

ツイッターで



・公式アカウントをフォローし、
#骨髄バンク新サイト名募集とつけて
ネーミングを投稿してください。
ユーザー名@JMDP1789

メールで



・件名: 骨髄バンク新サイト名募集
・本文に①ネーミング②応募者名を書いて、
present@jmdp.or.jpへ送信してください。
※当選者には別途ご連絡させていただきます。

住所や電話番号の変更、忘れていませんか？

日本骨髄バンクでは、原則として登録内容の変更は受け付けておりません。住所などの変更、ドナー登録の保留※や取消の手続きは下記①～④の方法でお願いします。

(※「保留」とは治療中・海外勤務・出産等の理由で提供を希望されない場合に、一時的に登録を保留にすることです)

① バンクニュース同封の変更はがきで

今号(52号)に同封の宛名台紙の下にある変更はがきを切り取り、変更内容をご記入のうえ、目隠しシールを貼って投函してください。

② ウェブサイトで

造血幹細胞移植情報サービス

(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>



bmdc SEARCH

QRコードで今すぐアクセス!



1. トップページ「骨髄ドナー登録者の方へ」から「登録内容変更ページ」を開き、ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。

※アクセスコードは、今号(52号)の宛名台紙および登録確認書等に印字されています。アクセスコードがわからない場合は、③または④の方法で手続きできます。

2. 1で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、一緒に届くワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。

3. 変更する項目を入力・確認して完了!!

※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。

③ 電話で

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。

※電話受付は平日(月～金)の9:00～17:00です。

北海道ブロック血液センター 011-613-6683

管轄地域 北海道

東北ブロック血液センター 022-354-7083

管轄地域 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越ブロック血液センター 03-5534-7534

管轄地域 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸ブロック血液センター 0561-85-4298

管轄地域 富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿ブロック血液センター 072-643-1173

管轄地域 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中四国ブロック血液センター 082-241-1614

管轄地域 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック血液センター 0942-31-8974

管轄地域 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

④ 献血ルームで

最寄りの献血ルームの受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で用紙にご記入いただきます。後日、お近くの日本赤十字社ブロック血液センターからお電話で変更内容について確認させていただく場合があります。

※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記②のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

大切なことなので
お早めに!



メールアドレスの登録をお願いします

▶ドナー登録者ご希望の方には、年2回(7月と12月)骨髄バンクニュース発行のお知らせメールをお送りします。

▶骨髄バンクニュース発行のメールによるお知らせを希望される方は、メールアドレスの登録をお願いします。



造血幹細胞移植情報サービスQRコード

ご注意

※ログインには、今号(52号)のバンクニュース宛名台紙または登録確認書等に記載されたアクセスコードが必要です。

※メール配信を希望される方にも、年2回郵送でバンクニュースが届きます。

メールアドレス入力

「受け取る」を選択

造血幹細胞移植情報サービス
(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

「ドナー登録者登録内容変更ページ」

「登録内容変更ページ」にログイン後、
「バンクニュース送付について メールでの配信受け取る」を選択。

(ドナー情報変更ページへ)